

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2012年第37週
(9月10日～9月16日)

- * 2012年9月19日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2012年8月)の疾患及び感染症豆知識
「マイコプラズマ肺炎」も掲載しています。

平成24(2012)年9月20日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2012年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週		37週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	82	75	83	75	3,249	361	20,609
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢	3	1	1	1	51	7	153
	腸管出血性大腸菌感染症	10	10	12	11	168	122	2,708
	腸チフス	1		1	1	8	1	23
	パラチフス		1	1		7	1	15
四類	E型肝炎					11	1	89
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				27		124
	エキノコックス症							9
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症				1	1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							4
	つつが虫病					3		196
	デング熱	2	2	4	4	36	7	138
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						4	92
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ポツリヌス症							3
マラリア	2		2	1	17	1	56	
野兔病								
ライム病							9	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1	2		41	19	585	
レプトスピラ症			1		4	1	13	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	6	7	10	136	15	626
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	2	1	2	35		150
	急性脳炎 *2	1	3		1	25	1	275
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2		11	3	128
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2			16	2	178
	後天性免疫不全症候群	9	5	11	11	326	17	981
	ジアルジア症	1		1		10	2	49
	髄膜炎菌性髄膜炎							9
	先天性風しん症候群							
	梅毒	6	14	8	2	201	6	603
	破傷風					3	3	81
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	8		65
	風しん	19	18	22	33	382	54	1598
麻しん	2	3	4	1	67	7	261	
2012/9/19集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 75件 肺結核 46件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 18件、年齢は5歳未満 4件、10代 1件、20代 9件、30代 9件、40代 5件、50代 11件、60代 8件、70代 7件、80代 17件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 73件、中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 無症状病原体保有者、年齢は50代、菌種はソンネ、推定感染地はトルコ、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 11件 患者 9件、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 6件、O157 VT2 5件、年齢は10歳未満 5件(うち5歳未満 2件)、10代 1件、20代 4件、30代 1件、推定感染地は国内 10件、米国 1件、推定感染経路は経口感染 6件、その他(不明) 5件であった。

腸チフス 1件 患者、年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

コクシジオイデス症 1件 患者、年齢は20代、推定感染地は米国、推定感染経路は塵埃感染であった。

デング熱 4件 患者 4件、年齢は20代 1件、30代 2件、40代 1件、推定感染地はフィリピン 2件、マレーシア 1件、タイ又は中国 1件であった。

マラリア 1件 患者、年齢は40代、病型は熱帯熱、推定感染地はブルキナファソであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 10件 腸管 8件、腸管外 2件、年齢は30代 3件、40代 3件、50代 3件、60代 1件、推定感染地は国内 8件、シンガポール 1件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触(異性間) 2件、経口感染 1件、経口感染又は性的接触(異性間) 2件、その他(不明) 5件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 2件、年齢は20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)であった。

急性脳炎 1件 病原体はエンテロウイルス、年齢は5～9歳、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

後天性免疫不全症候群 11件 AIDS 3件、無症候キャリア 6件、その他 2件、AIDS患者の年齢は40代 2件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 1件、40代 5件、推定感染地は国内 9件、韓国 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 11件(同性間 9件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

梅毒 2件 早期顕症梅毒Ⅱ期 1件、無症候梅毒 1件、年齢は40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触(同性間) 2件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型はvanB、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

風しん 33件 検査診断例 23件、臨床診断例 10件、年齢は5歳未満 1件、10代 4件、20代 8件、30代 12件、40代 8件、推定感染地は国内 33件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 14件、その他 19件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 2件、接種なし 6件、不明 25件であった。

麻しん 1件 修飾麻しん、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種であった。

※ 第35週で報告のあった、〔四類〕マラリア 1件は削除された。

※ 第35週該当分として、〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、〔五類〕麻しん 1件、第36週該当分として、〔五類〕風しん 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2012年37週

定点種別	対象疾患	2012年					報告医療機関数	定点医療機関数
		34週	35週	36週	37週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	146	251	317	358	1.40	256	264
	咽頭結膜熱	114	118	115	194	0.76		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	185	201	242	270	1.05		
	感染性胃腸炎	764	941	940	961	3.75		
	水痘	112	67	114	82	0.32		
	手足口病	161	154	154	132	0.52		
	伝染性紅斑	19	15	20	20	0.08		
	突発性発しん	167	239	233	243	0.95		
	百日咳	2	7	9	5	0.02		
	ヘルパンギーナ	363	324	262	227	0.89		
	流行性耳下腺炎	56	66	57	75	0.29		
	川崎病(注1)	8	3	1	2	0.01		
	不明発しん症(注1)	32	59	35	59	0.23		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	11	9	43	43	0.11	404	419
眼科	急性出血性結膜炎		1	1			37	39
	流行性角結膜炎	19	31	31	24	0.65		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)			2	1	0.05	22	25
	無菌性髄膜炎	1	3	3	2	0.09		
	マイコプラズマ肺炎	13	13	21	25	1.14		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1						
	インフルエンザ入院(注4)						24	
2012/9/20集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

新宿区

- ・インフルエンザウイルスB型 1名。

墨田区

- ・感染性胃腸炎 1名中、ノロウイルス 1名。
- ・インフルエンザウイルスA型 6名。
- ・インフルエンザウイルスA型 4名。3名は同じ幼稚園。

江東区

- ・インフルエンザウイルスA型 2名。(2医療機関)
- ・インフルエンザウイルスA型 1名。

世田谷区

- ・アデノウイルス迅速キット陽性 1名。
- ・アデノウイルス迅速キット陽性 6名。マイコプラズマ肺炎 2名。
- ・感染性胃腸炎が増加しています。

中野区

- ・インフルエンザウイルスA型 1名。(2医療機関)

荒川区

- ・RSウイルス感染症は今週も流行しています。
- ・病原性大腸菌O1、プレシオモナス、アエロモナス 各1名。

板橋区

- ・感染性胃腸炎1名中、ノロウイルス迅速キット陽性 1名(1歳児)。
- ・感染性胃腸炎6名中、病原大腸菌O18、カンピロバクター、マイコプラズマ肺炎 各1名。

練馬区

- ・インフルエンザウイルスA型 1名。(2医療機関)

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 4名(2歳児 3名、5歳児 1名)。
- ・アデノウイルス感染症 1名(3歳児)。
- ・感染性胃腸炎8名中、腸炎ビブリオ菌 2名、病原性大腸菌O44 1名。
- ・インフルエンザウイルスA型 1名。

南多摩

- ・インフルエンザウイルスA型 2名。発熱2日前に大規模プールへ行きました。

多摩府中

- ・インフルエンザウイルスA型 1名。患者は前々週で報告した家族の親で同じA型です。

多摩小平

- ・マイコプラズマ肺炎 1名。
- ・感染性胃腸炎12名中、病原性大腸菌 11名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2012年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	27			17		1		6	2	4
～1歳	78	9		92	2	11	1	75	1	33
1歳	138	31	7	156	9	37	7	121		60
2歳	69	23	13	108	13	28	2	29		29
3歳	31	32	33	83	15	18	3	8		32
4歳	9	30	33	83	20	13	2	3		23
5歳	5	25	49	82	10	7	1			13
6歳		13	40	53	6	4	2	1		11
7歳	1	8	26	34	3	1	1			4
8歳		11	21	31	1	4	1			7
9歳		4	13	14		1				1
10～14歳		3	25	96	3	4				5
15～19歳		2	1	22						1
20～29歳		3	9	90		3			2	4
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	358	194	270	961	82	132	20	243	5	227
先週比	41	79	28	21	-32	-22		10	-4	-35

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月						
～1歳			9	1		
1歳	4	1	27	2		
2歳	8		10	4		2
3歳	20	1	3	5		1
4歳	12		4	2		
5歳	9		3	3		
6歳	6		2	3		1
7歳	5		1	1		1
8歳	5					
9歳	5			1		
10～14歳	1			4		1
15～19歳				1		
20～29歳				4		3
30～39歳				6		11
40～49歳				3		1
50～59歳				1		3
60～69歳				2		
70～79歳						
80歳以上						
合計	75	2	59	43		24
先週比	18	1	24		-1	-7

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2012年37週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳	1	
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳	4	
20～29歳	8	
30～39歳	12	1
40～49歳	8	
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	33	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2012年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1			1	1					
中央区	4	2	3	5		3		6		3
みなと	8	7	2	22	2	5	1	7		3
新宿区	13	3	8	15	2	8	1	9		4
文京	7	3	1	5	1	2		1		
台東	1		2	29	2	2		6		3
墨田区	10	6	2	1		3		11		4
江東区	14	43	7	77	4	20	2	13		12
品川区	5	2	9	33	3			7		3
目黒区	2			8		1		3		5
大田区	65	24	15	89	5	7	1	14	2	17
世田谷	19		19	58	1	5	2	8		22
渋谷区	1	1		9		1				
中野区		2	3	41	5	3	1	5		7
杉並	2		9	38		2		9		6
池袋	2		2	8			1		1	4
北区		10	4	25	2	5		8		1
荒川区	25	15	9	17	4	9	5	4		4
板橋区			4	15			1	7		3
練馬区	8	5	11	26	2	1	1	17		13
足立	6	16	14	47	4	4	2	8		21
葛飾区	5	1	4	44	3	7		3		15
江戸川	18	2	5	48		7	1	14		10
八王子市	18	9	28	91	3	2		12		7
町田市	1	15	10	53	3	7		8		11
西多摩	4	3	4	24	3	1		3		5
南多摩	16	3	12	22	4	6	1	8		9
多摩立川	23	4	19	37	6	7		6	1	7
多摩府中	14	3	33	28	11	8		24	1	12
多摩小平	61	13	31	45	9	5		20		15
島しょ	5	2			2	1		2		1
東京都合計	358	194	270	961	82	132	20	243	5	227

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2012年37週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1			
中央区	2		2			2
みなと			2			
新宿区	1			1		
文京						1
台東						
墨田区	3		2	21		1
江東区	6		5	5		2
品川区						
目黒区				1		1
大田区	3		4	4		2
世田谷	1		4			2
渋谷区	1					
中野区	3		1	2		1
杉並						7
池袋						
北区	1		1			
荒川区			4			3
板橋区	5		3			1
練馬区	1		1	2		
足立	3		2	1		1
葛飾区	2	1	1			
江戸川	2		5	1		
八王子市	13		2	1		
町田市	3		3			
西多摩	4					
南多摩	1			2		
多摩立川	6		4			
多摩府中	12		7	1		
多摩小平	2	1	5	1		
島しょ						

東京都合計	75	2	59	43		24
-------	----	---	----	----	--	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区	1	
みなと	3	
新宿区	3	
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区	1	
目黒区		
大田区	1	
世田谷	4	
渋谷区	1	
中野区	2	1
杉並	4	
池袋	1	
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区	4	
足立	3	
葛飾区		
江戸川	1	
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中	2	
多摩小平	2	
島しょ		

東京都合計	33	1
-------	----	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2012年37週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	0.33			0.33	0.33					
中央区	1.33	0.67	1.00	1.67		1.00		2.00		1.00
みなと	1.33	1.17	0.33	3.67	0.33	0.83	0.17	1.17		0.50
新宿区	1.63	0.38	1.00	1.88	0.25	1.00	0.13	1.13		0.50
文京	1.75	0.75	0.25	1.25	0.25	0.50		0.25		
台東	0.25		0.50	7.25	0.50	0.50		1.50		0.75
墨田区	2.00	1.20	0.40	0.20		0.60		2.20		0.80
江東区	1.56	4.78	0.78	8.56	0.44	2.22	0.22	1.44		1.33
品川区	0.71	0.29	1.29	4.71	0.43			1.00		0.43
目黒区	0.40			1.60		0.20		0.60		1.00
大田区	5.00	1.85	1.15	6.85	0.38	0.54	0.08	1.08	0.15	1.31
世田谷	1.19		1.19	3.63	0.06	0.31	0.13	0.50		1.38
渋谷区	0.25	0.25		2.25		0.25				
中野区		0.29	0.43	5.86	0.71	0.43	0.14	0.71		1.00
杉並	0.20		0.90	3.80		0.20		0.90		0.60
池袋	0.50		0.50	2.00			0.25		0.25	1.00
北区		1.43	0.57	3.57	0.29	0.71		1.14		0.14
荒川区	6.25	3.75	2.25	4.25	1.00	2.25	1.25	1.00		1.00
板橋区			0.50	1.88			0.13	0.88		0.38
練馬区	0.67	0.42	0.92	2.17	0.17	0.08	0.08	1.42		1.08
足立	0.46	1.23	1.08	3.62	0.31	0.31	0.15	0.62		1.62
葛飾区	0.63	0.13	0.50	5.50	0.38	0.88		0.38		1.88
江戸川	1.64	0.18	0.45	4.36		0.64	0.09	1.27		0.91
八王子市	1.64	0.82	2.55	8.27	0.27	0.18		1.09		0.64
町田市	0.13	1.88	1.25	6.63	0.38	0.88		1.00		1.38
西多摩	0.50	0.38	0.50	3.00	0.38	0.13		0.38		0.63
南多摩	1.78	0.33	1.33	2.44	0.44	0.67	0.11	0.89		1.00
多摩立川	1.64	0.29	1.36	2.64	0.43	0.50		0.43	0.07	0.50
多摩府中	0.74	0.16	1.74	1.47	0.58	0.42		1.26	0.05	0.63
多摩小平	4.07	0.87	2.07	3.00	0.60	0.33		1.33		1.00
島しょ	5.00	2.00			2.00	1.00		2.00		1.00

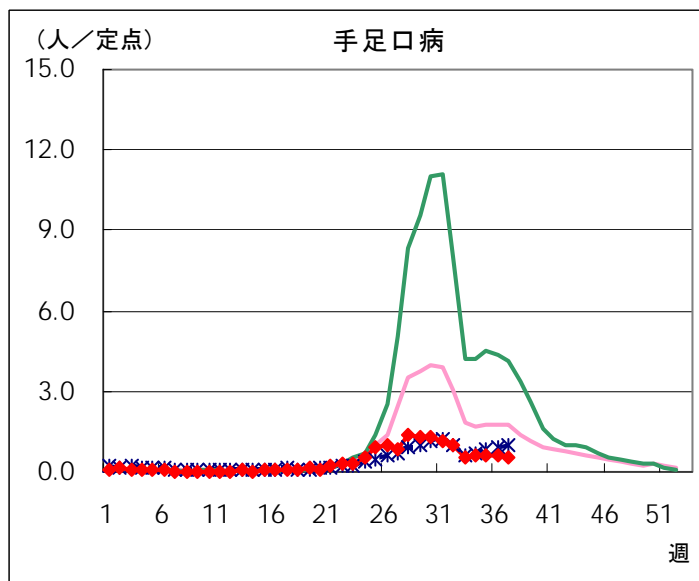
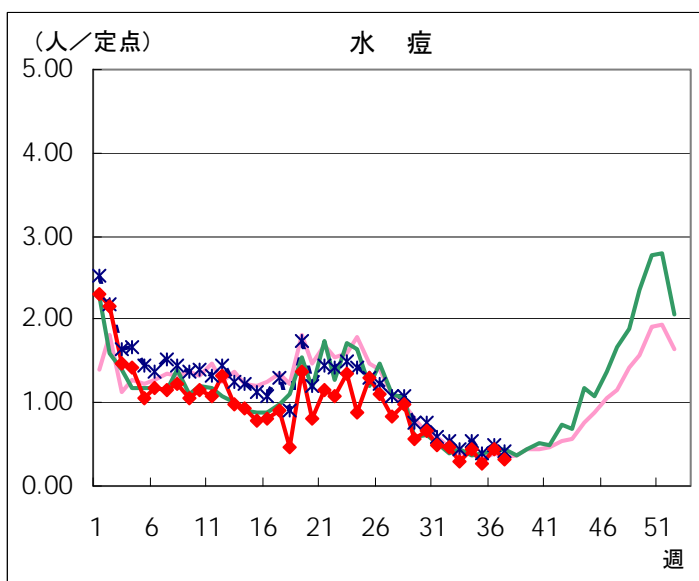
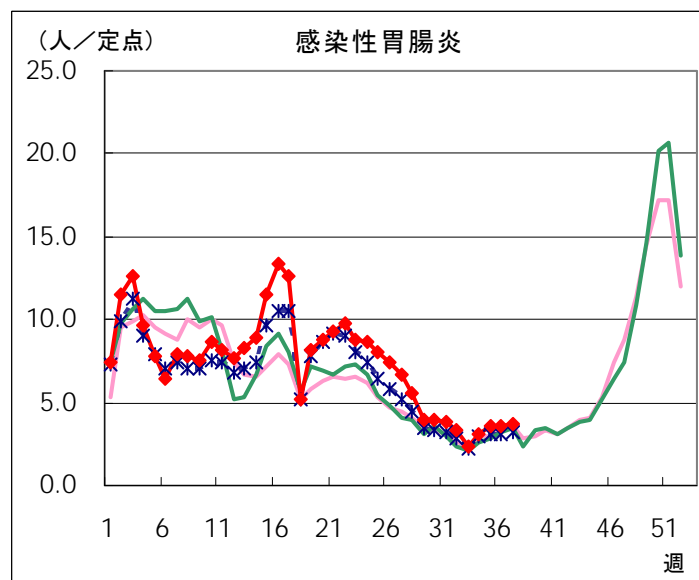
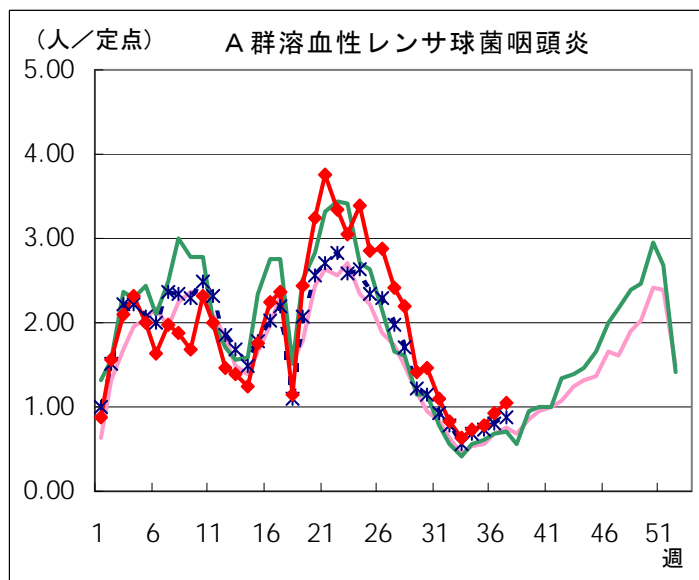
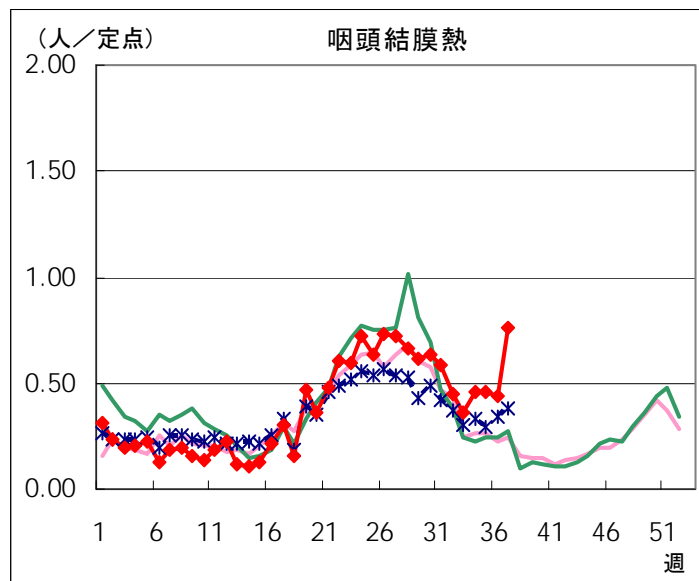
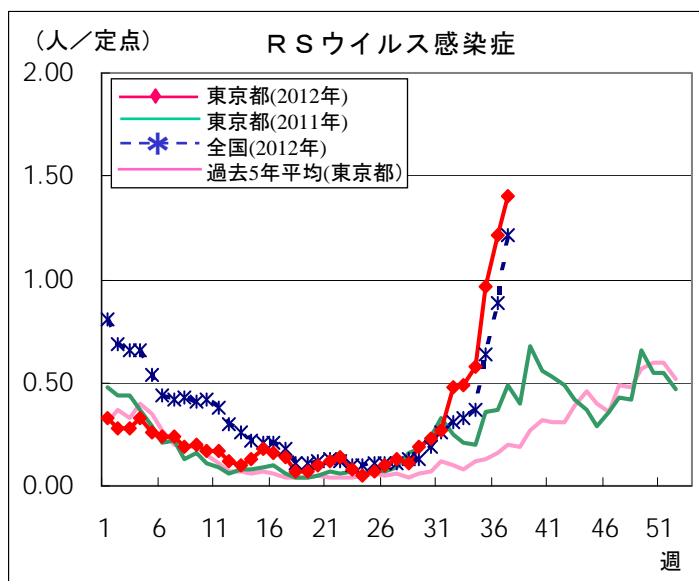
東京都	1.40	0.76	1.05	3.75	0.32	0.52	0.08	0.95	0.02	0.89
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

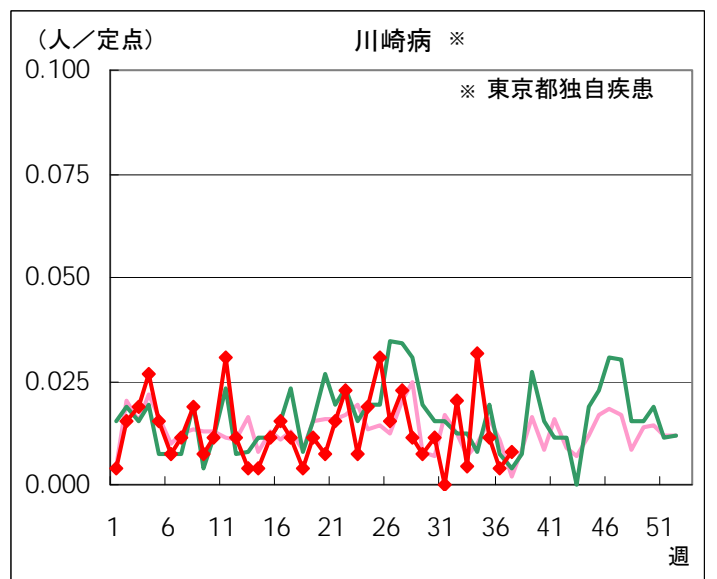
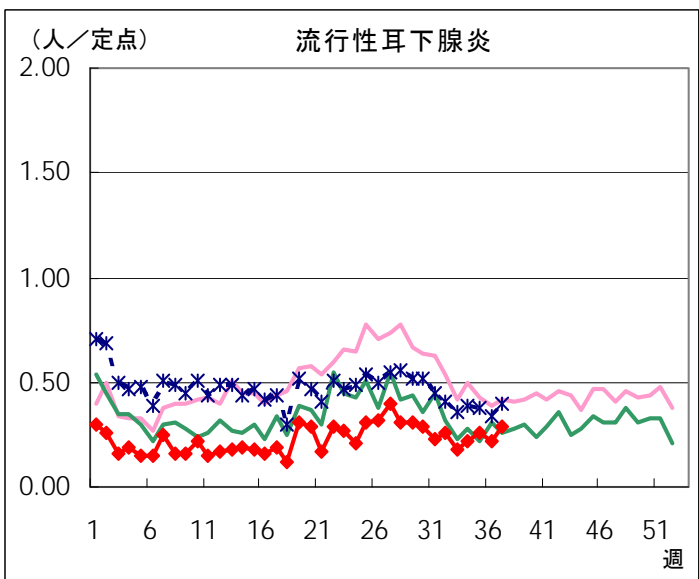
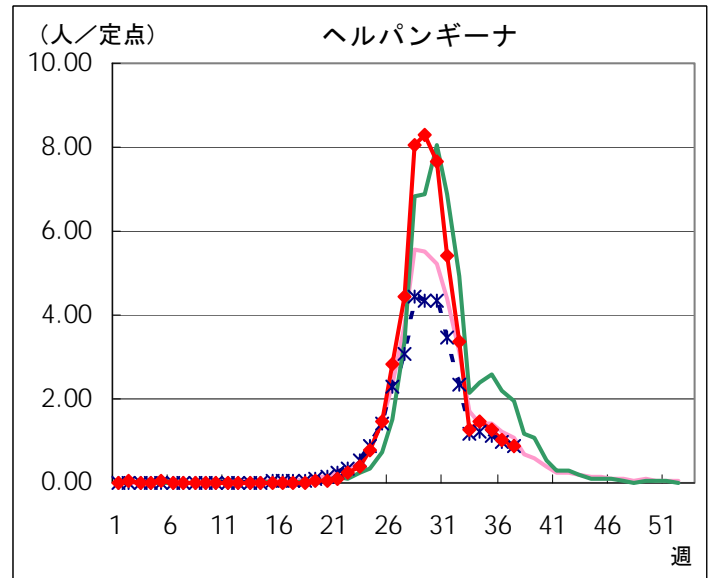
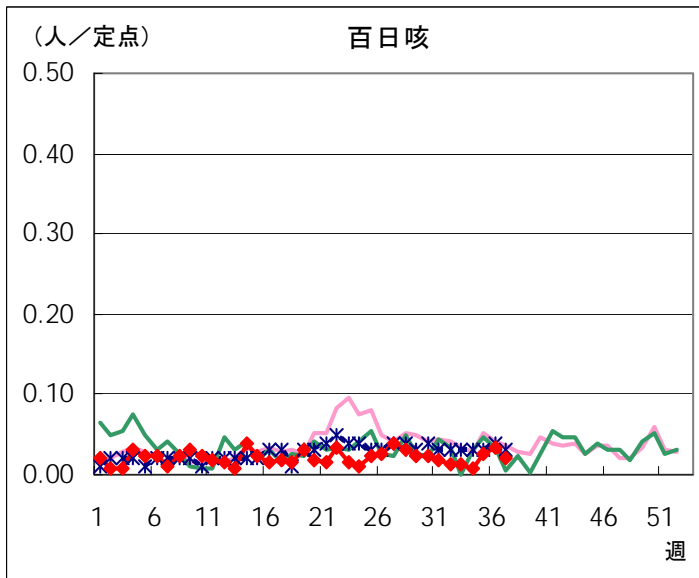
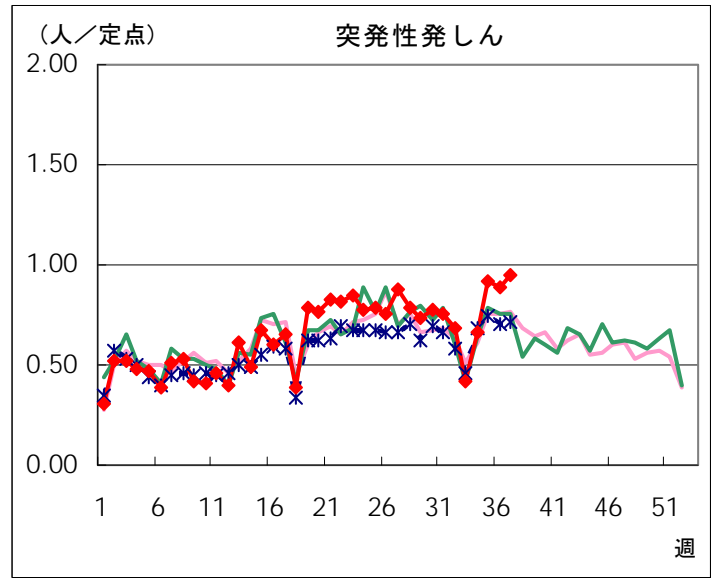
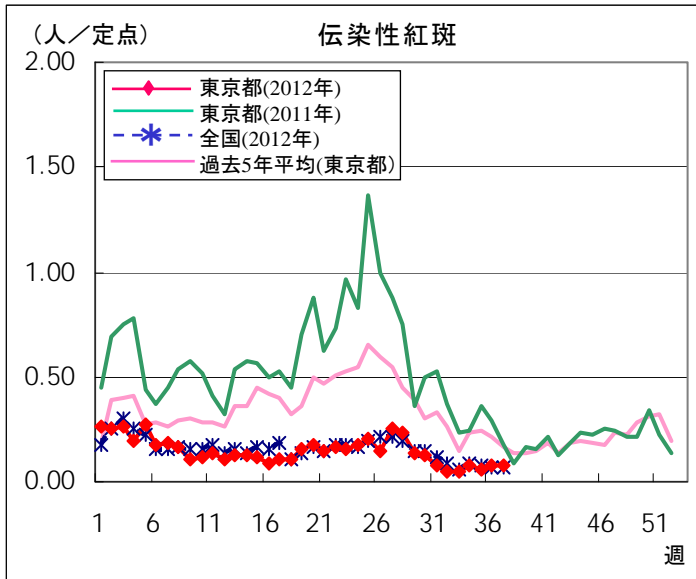
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.33			
中央区	0.67		0.67			2.00
みなと			0.33			
新宿区	0.13			0.08		
文京						1.00
台東						
墨田区	0.60		0.40	2.63		1.00
江東区	0.67		0.56	0.36		2.00
品川区						
目黒区				0.14		1.00
大田区	0.23		0.31	0.19		1.00
世田谷	0.06		0.25			1.00
渋谷区	0.25					
中野区	0.43		0.14	0.18		1.00
杉並						7.00
池袋						
北区	0.14		0.14			
荒川区			1.00			3.00
板橋区	0.63		0.38			0.50
練馬区	0.08		0.08	0.13		
足立	0.23		0.15	0.05		0.50
葛飾区	0.25	0.13	0.13			
江戸川	0.18		0.45	0.06		
八王子市	1.18		0.18	0.06		
町田市	0.38		0.38			
西多摩	0.50					
南多摩	0.11			0.14		
多摩立川	0.43		0.29			
多摩府中	0.63		0.37	0.03		
多摩小平	0.13	0.07	0.33	0.04		
島しょ						

東京都	0.29	0.01	0.23	0.11		0.65
-----	------	------	------	------	--	------

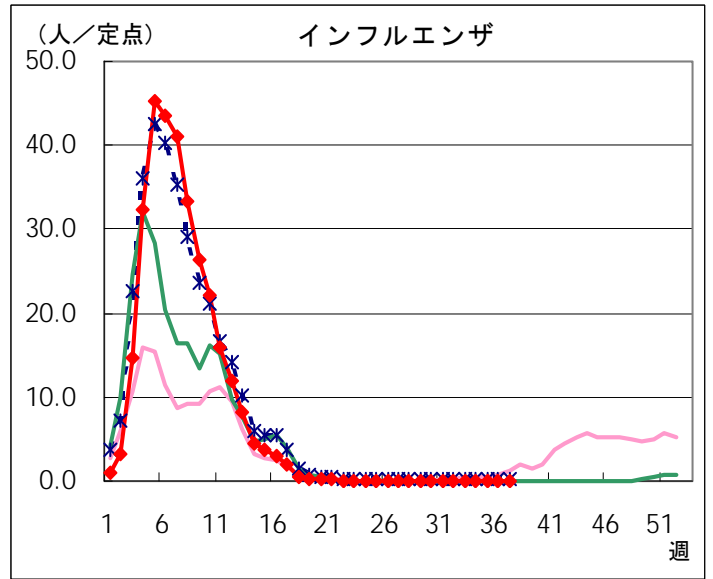
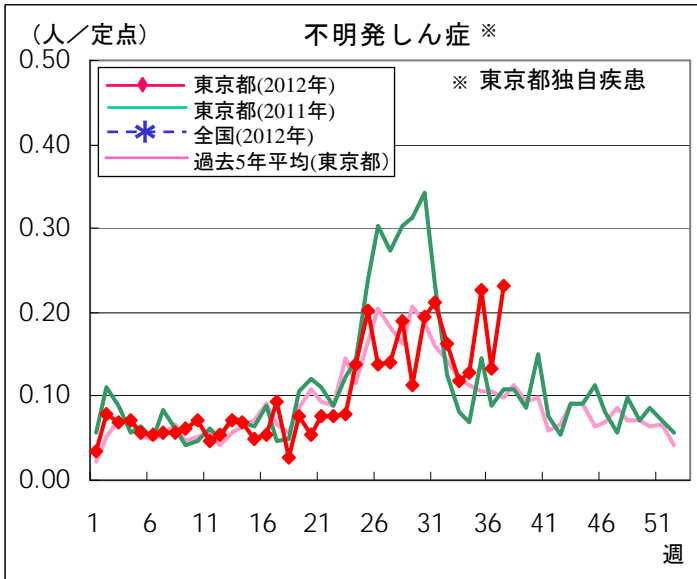
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2012年37週現在

◆ 小児科定点

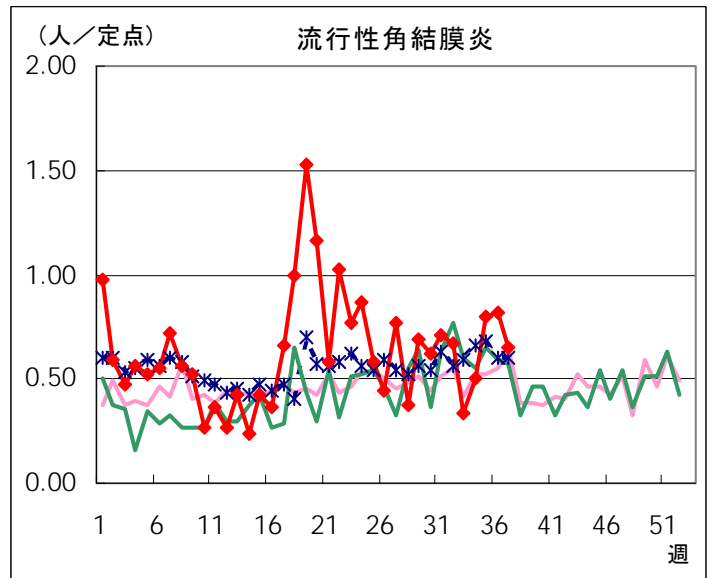
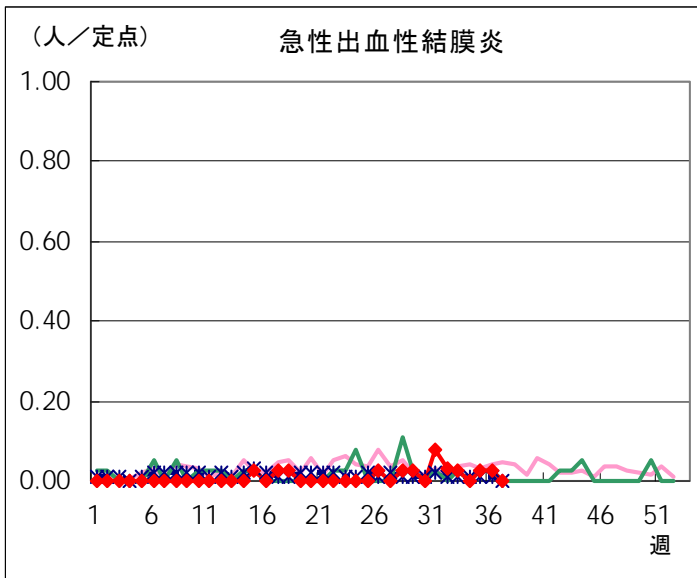




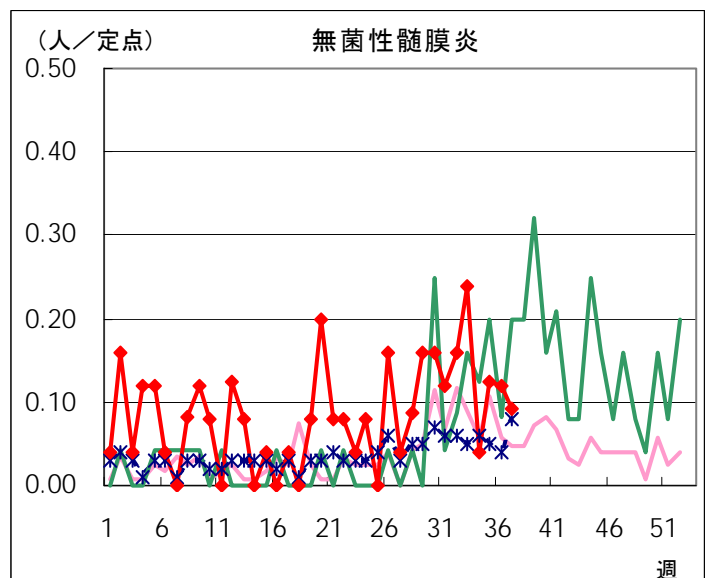
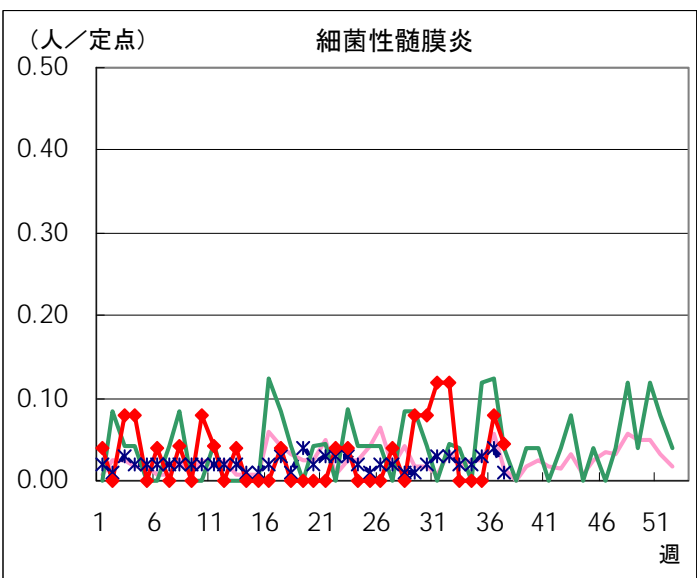
◆ インフルエンザ定点

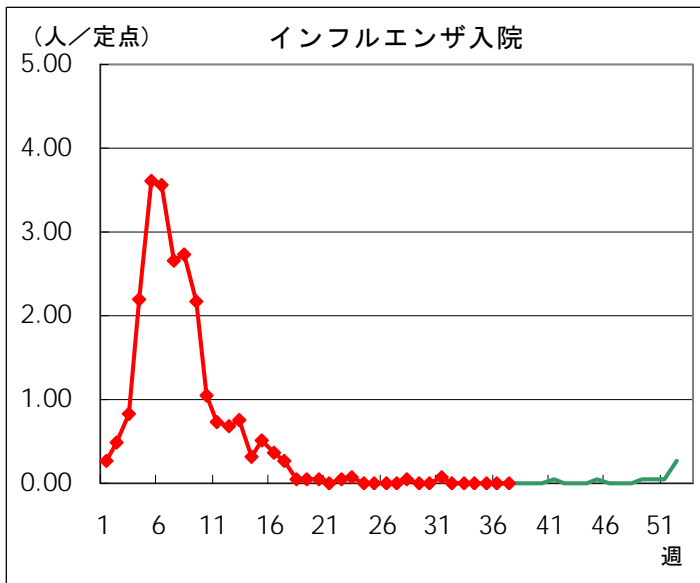
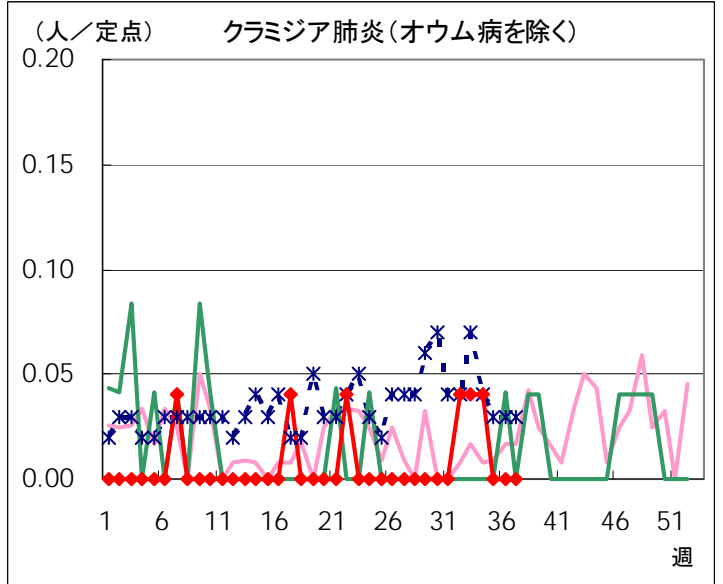
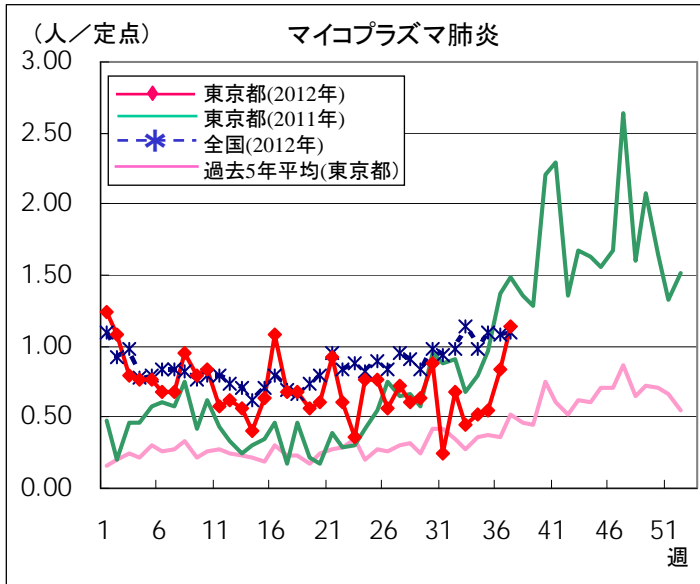


◆ 眼科定点

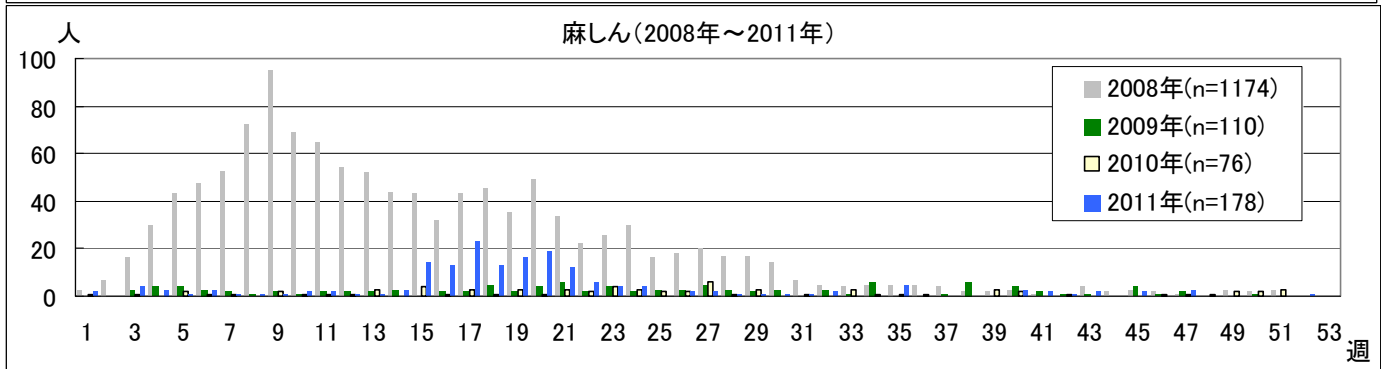
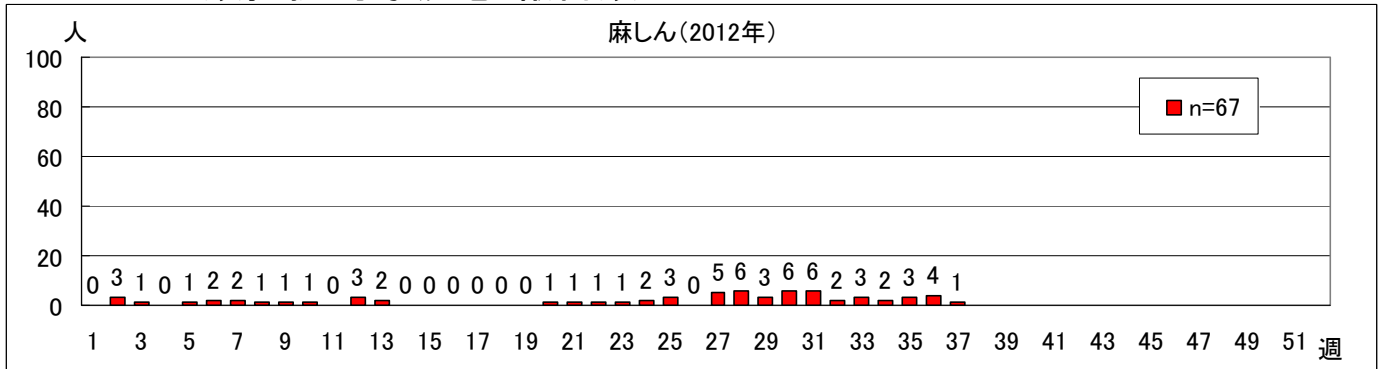


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2012年37週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/4	突発性発しん	2M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	遺伝子
9/6	エンテロウイルス感染症	3M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/3	発熱	6M	咽頭拭い液	RSウイルス エンテロウイルス	
9/1	ヘルパンギーナ	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/3	喘息性気管支炎	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス 2型	
9/5	ヘルパンギーナ	11M	咽頭拭い液	EBウイルス エンテロウイルス	
9/4	咽頭結膜熱疑い	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス 1型	
9/4	気管炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/6	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/4	突発性発しん 感染性胃腸炎	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
8/30	夏風邪 ウイルス感染症	1	咽頭拭い液	風しんウイルス	
9/6	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/6	発熱 不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	
9/4	気管支炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/3	けいれん重積発作	2	直腸拭い液	エンテロウイルス	
			咽頭拭い液		
8/31	突発性発しん ウイルス性発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/3	突発性発しん 熱性けいれん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/6	ウイルス感染症	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス 1型	
9/3	中耳炎 不明発しん症	2	鼻汁	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/3	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	EBウイルス エンテロウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/5	咽頭結膜熱疑い	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
9/7	咽頭結膜熱	9	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/4	頸部リンパ節炎	9	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/6	ウイルス感染症	10	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/3	急性咽頭扁桃腺炎	10	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/31	風しん疑い	10	咽頭拭い液	EBウイルス	
9/3	アデノウイルス感染症	12	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
9/6	左顎下部疼痛	12	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/6	インフルエンザ様疾患 (発熱、筋肉痛、関節痛)	42	咽頭拭い液	エコーウイルス 7型	
9/4	不明発しん症	42	咽頭拭い液	ライノウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
36週			1	
2012-2013年 シーズン累計**			1	

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2012-2013シーズンの開始は第36週(2012年9月3日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2012年							
		29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
ウイルス	アデノウイルス		3		3				4
	ライノウイルス	1		1	1		1		1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群		1						
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								1
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	19	17	7	19	7	4	10	18
	単純ヘルペスウイルス	1			1	1			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	5	2	3	5	3	6	4	8
	EBウイルス	5	2		5	2	1	1	3
	サイトメガロウイルス			3					
	ムンプスウイルス	2		1	1			2	
	麻疹ウイルス	2		1					
	風疹ウイルス								1
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス			1	5		3	5	3
	ノロウイルス								
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3		3	1					1
	インフルエンザウイルスB								
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス	8	2	2	3	1	2		3	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2012年29週～2012年36週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		5	35	38	10	44	12		6	18	9		29	6		2	1	77	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		3				1		2		2		1					1	
	ライノウイルス		1	1			1						2						
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群		1																
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		1
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス	1	13	11		7	5			17	6		10	2					29
	単純ヘルペスウイルス												1						2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7		2		1								16				1		16
	EBウイルス		1			1				5			1	1				1	9
	サイトメガロウイルス		1	1										1					
	ムンプスウイルス						4							2					
	麻疹ウイルス													2			1		
	風しんウイルス																		1
	パルボウイルスB19																		
	RSウイルス		3	13															1
	ノロウイルス																		
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3		5																	
インフルエンザウイルスB																			
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス (抗体を含む)																			
その他のウイルス			6	9			3											3	
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2012年8月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	113	2.09	54	55
		女	83	1.54		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	60	1.11		
		女	47	0.87		
	尖圭コンジローマ	男	39	0.72		
		女	23	0.43		
	淋菌感染症	男	58	1.07		
		女	7	0.13		
	膺トリコモナス症 *1	男				
		女	15	0.28		
梅毒様疾患	男	9	0.17			
	女					
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	56	2.24	25	25
		女	31	1.24		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	22	0.88		
		女	12	0.48		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女				
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症 *2	男				
		女				

2012/9/19

*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2012年8月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	2	1		2		
20～24歳	11	4	2	9		
25～29歳	24	5	4	11		3
30～34歳	24	8	10	15		2
35～39歳	16	12	7	9		1
40～44歳	8	8	9	5		1
45～49歳	11	6	3	5		1
50～54歳	7	3	2			1
55～59歳	4	7		2		
60～64歳	5	3	1			
65～69歳	1	2				
70歳～		1	1			
合計	113	60	39	58		9
先月数	134	63	35	77		7
増減数	-21	-3	4	-19		2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1					
15～19歳	6	3	2			
20～24歳	22	6	5	3	2	
25～29歳	16	10	9	3	3	
30～34歳	18	8	3		2	
35～39歳	13	4	3		1	
40～44歳	3	4	1		2	
45～49歳	2	1			1	
50～54歳	2	3		1	3	
55～59歳		5				
60～64歳					1	
65～69歳						
70歳～		3				
合計	83	47	23	7	15	
先月数	88	47	15	13	11	1
増減数	-5		8	-6	4	-1

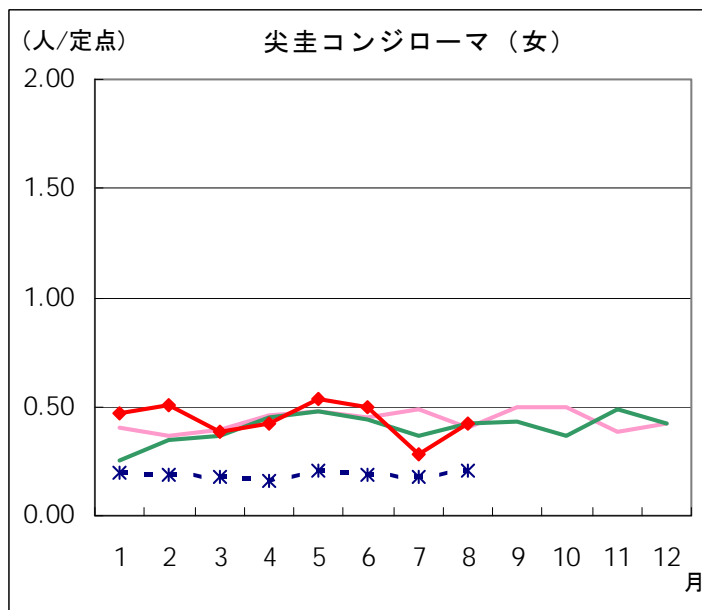
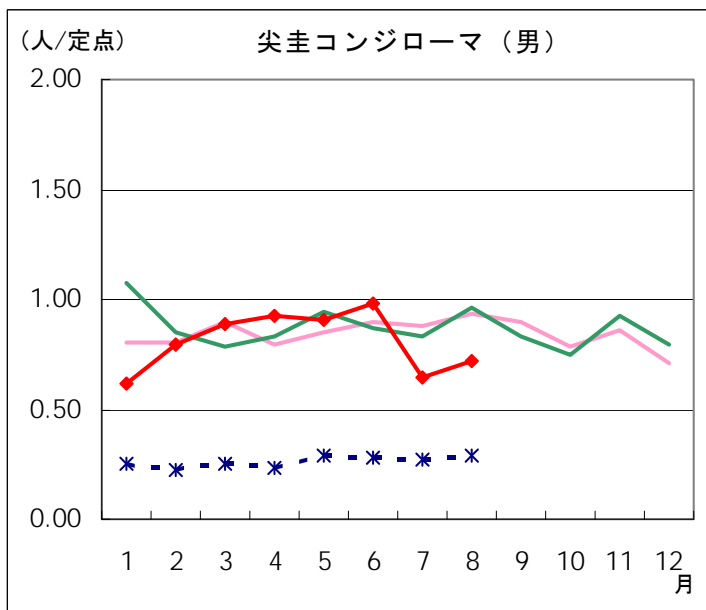
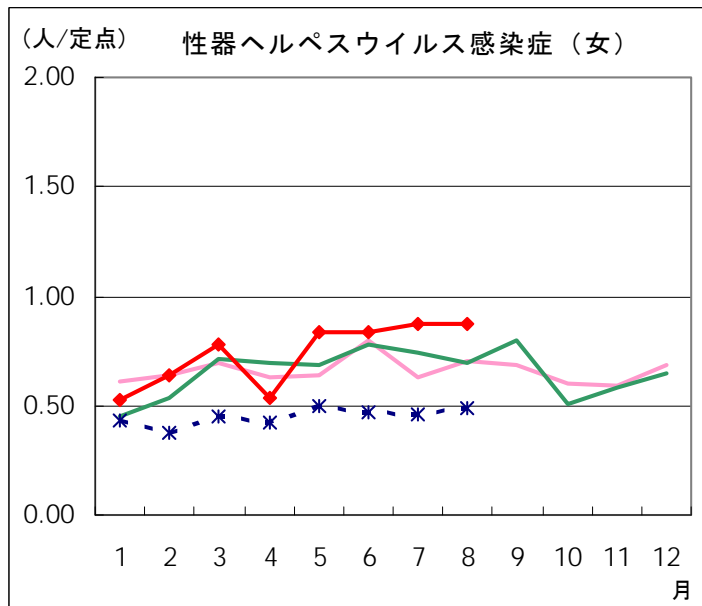
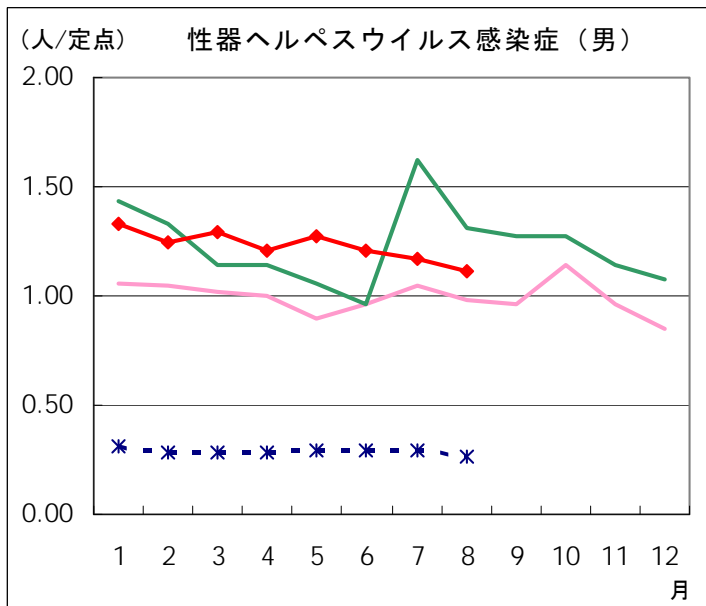
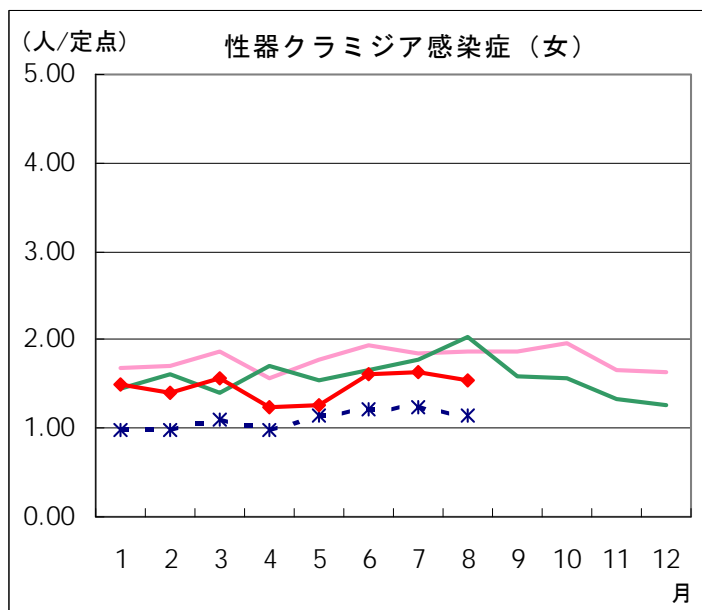
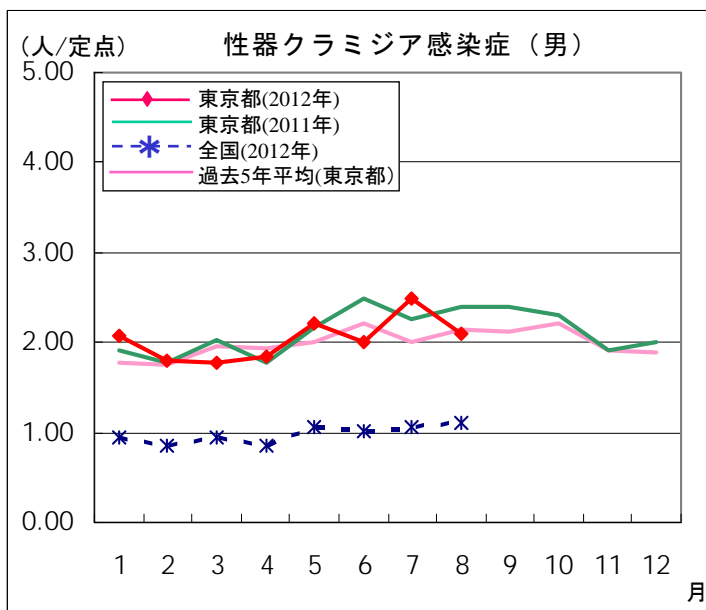
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2012年8月

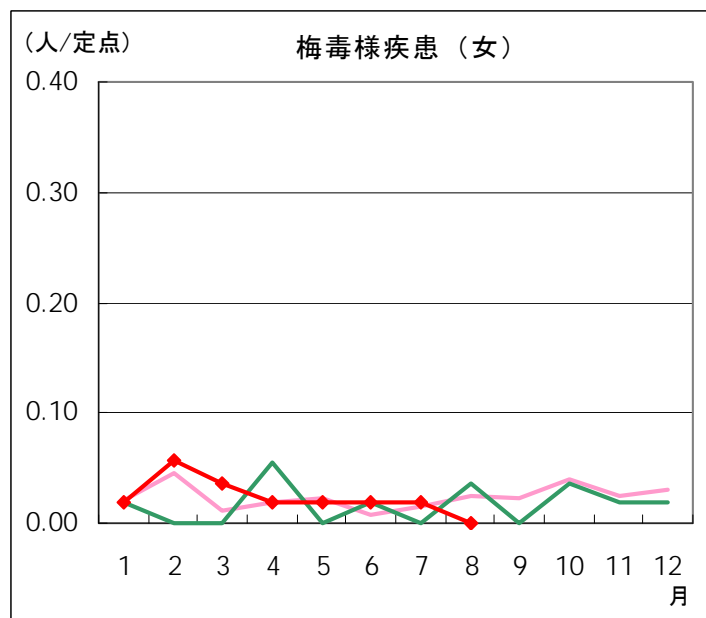
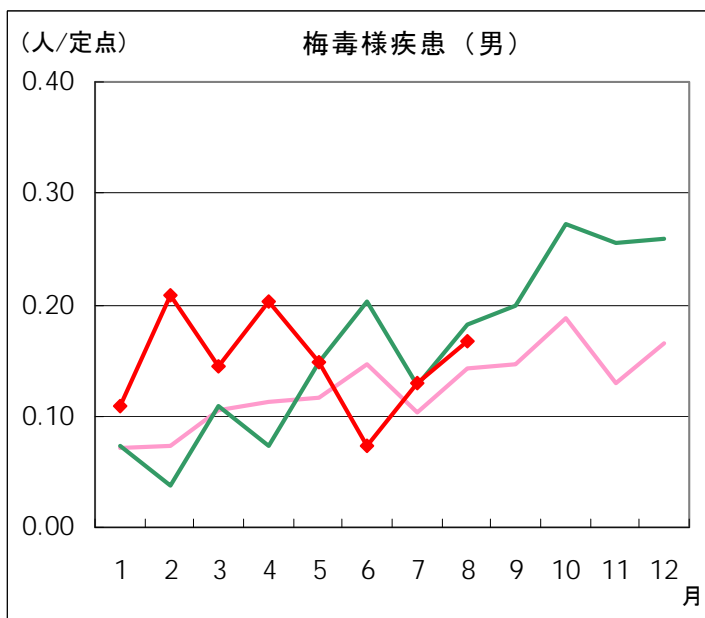
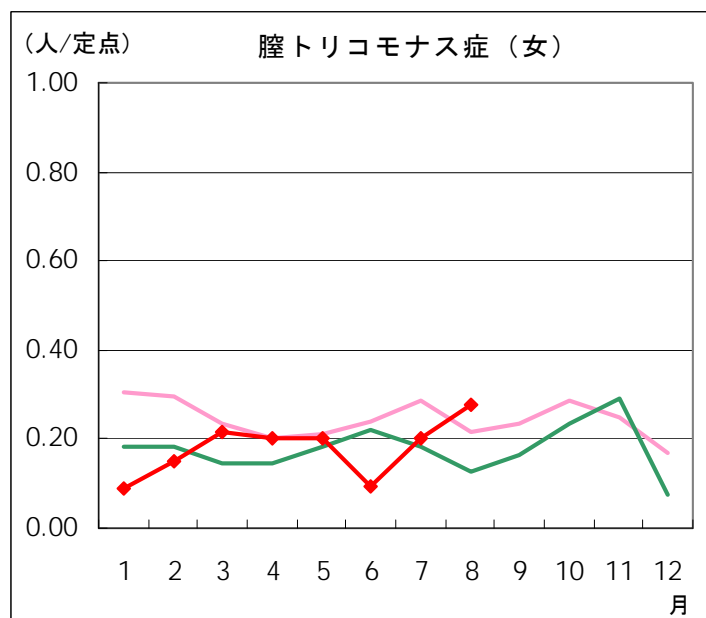
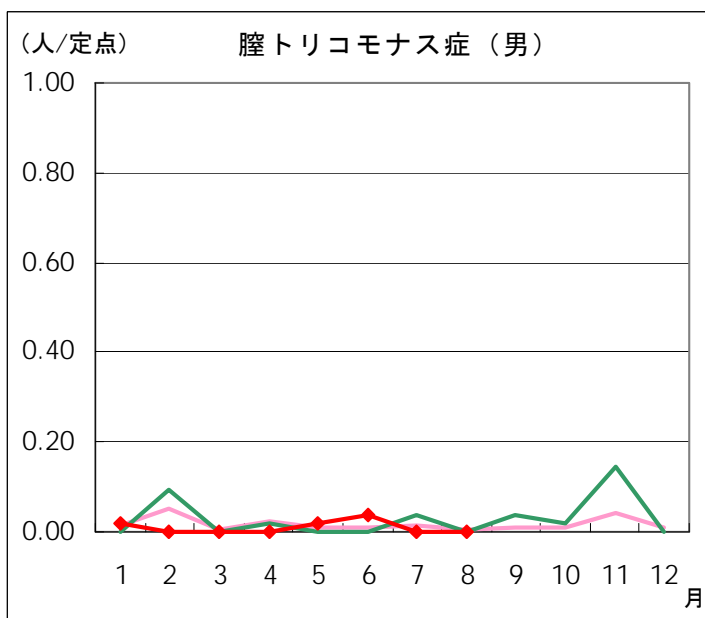
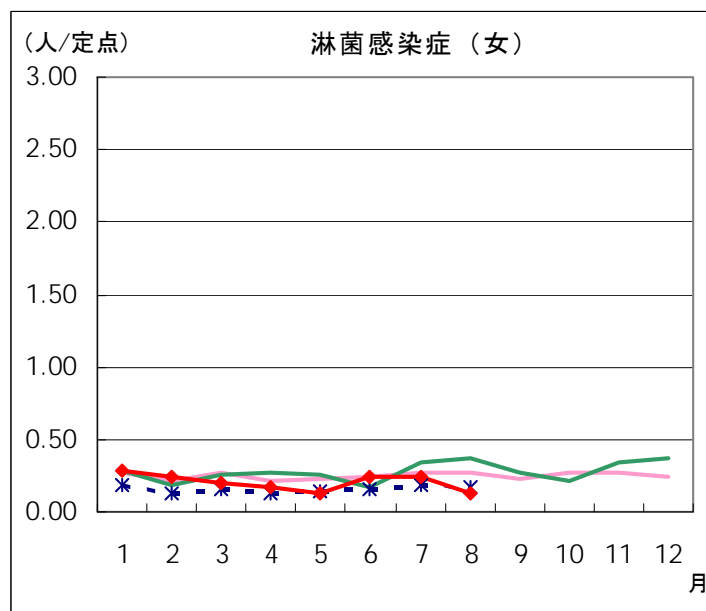
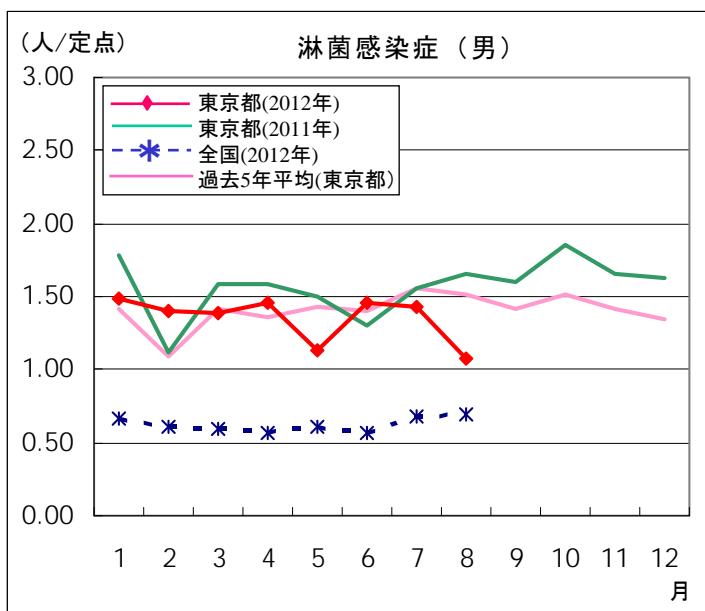
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	18		6	7		2
中央区	3	12	6	2	9		
みなと	2	6	27	11	3		1
新宿区	6	7		4	8		4
文京	1	6	1	2	5		1
台東	2						
墨田区	2	3					
江東区	2	12	9	1	8		
品川区	1	8	5	2	3		
大田区	2	2					
渋谷区	5	14	4	3	2		
中野区	2		2				1
杉並	2	3			1		
池袋	3	9	4	5	4		
北区	1	1					
荒川区	1						
板橋区	2	4	2		2		
足立	2	3		1	3		
江戸川	2	4		2			
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2	1			1		
多摩府中	3				2		
多摩小平	1						
合 計	54	113	60	39	58		9
定点当たり		2.09	1.11	0.72	1.07		0.17

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1					
中央区	3	1					
みなと	2	3	5	4			
新宿区	6	1	7	1		1	
文京	1						
台東	2	3	3			1	
墨田区	2	1	2	1		1	
江東区	2	2	2			1	
品川区	1	1				1	
大田区	2	15					
渋谷区	5	7	6	7			
中野区	2	3		1		1	
杉並	2		1	1			
池袋	3	7	6	2	3	2	
北区	1						
荒川区	1	1	2				
板橋区	2	6	1	3			
足立	2	4					
江戸川	2	7	6	2	1	3	
八王子市	4	5	1			3	
町田市	1	1	3				
多摩立川	2	13	2		3	1	
多摩府中	3			1			
多摩小平	1	1					
合 計	54	83	47	23	7	15	
定点当たり		1.54	0.87	0.43	0.13	0.28	

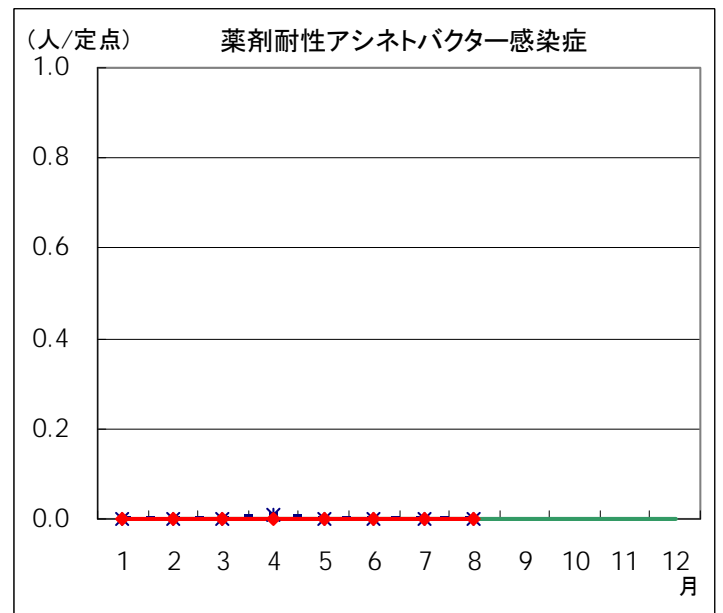
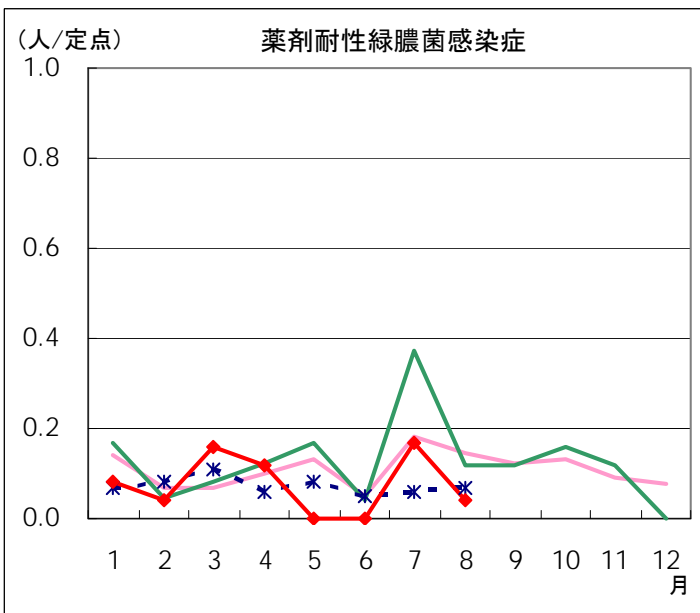
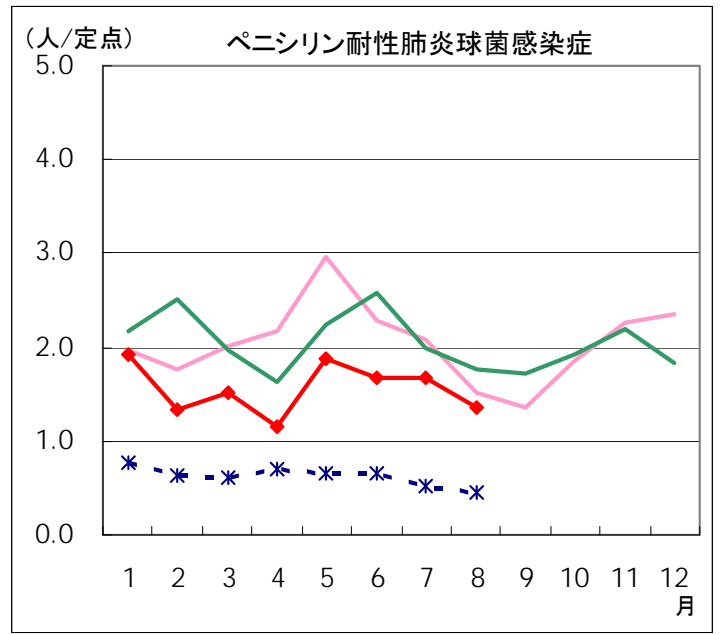
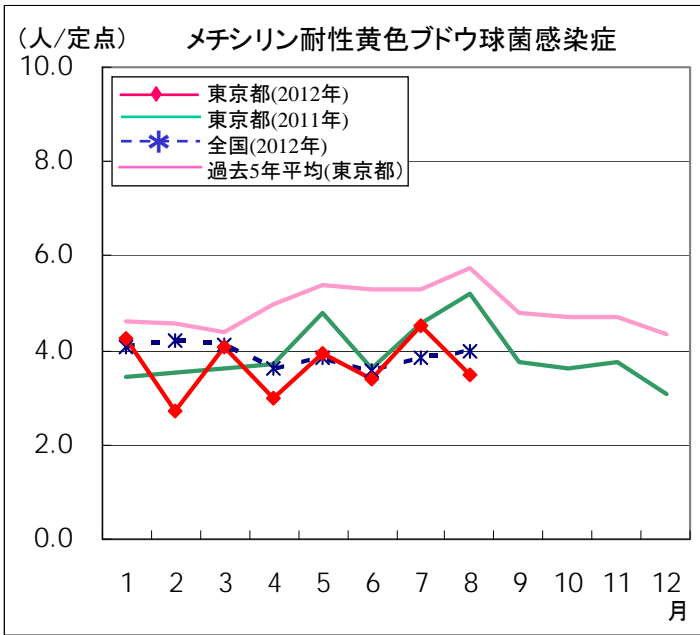
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2012年8月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇病原体検出状況

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
8/20	性器ヘルペス (再発性)	18	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	遺伝子
8/20	性器ヘルペス疑い	20	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
8/20	外陰ヘルペス疑い	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
8/27	尿道炎	22	男	尿	淋菌	
8/20	尿道炎	23	男	尿	クラミジア	
8/6	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
8/27	陰茎コンジローマ	25	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	
8/27	尿道炎	26	男	尿	クラミジア	
8/27	陰茎ヘルペス	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/6	尿道炎	27	男	尿	クラミジア	
8/20	尿道炎	28	男	尿	クラミジア	
8/6	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
8/6	陰茎ヘルペス	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
8/20	尿道炎	32	男	尿	淋菌	
8/6	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	
8/27	淋菌性尿道炎	33	男	尿	淋菌	
8/28	尖圭コンジローマ	34	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 6型	
8/28	尖圭コンジローマ	34	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 58型	
8/28	尖圭コンジローマ	34	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 82型	
8/27	尿道炎	35	男	尿	クラミジア	
8/20	ヒトパピローマウイルス 感染症疑い	36	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 58型	
8/6	尿道炎	36	男	尿	クラミジア	
8/20	陰茎ヘルペス疑い	41	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/20	性器ヘルペス疑い (再発性)	43	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/20	尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
8/27	陰茎ヘルペス	65	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	

<感染症豆知識>

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は五類感染症基幹定点把握疾患である。病原体はマイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) で、人のみが感染源となる最も小さな細菌で、他の細菌と異なり細胞壁を持たず、多形態を示す。

好発年齢は6～12歳で、新生児から成人まで広く罹患する。飛沫又は接触感染で、潜伏期間は2～3週間、終生免疫はなく再感染を起こす。激しい乾性咳、発熱と全身倦怠感を主症状とし、解熱後の長引く咳(3～4週間)が特徴である。

合併症は気道以外の全身臓器に感染し、胃腸炎、心筋炎、髄膜脳炎、皮疹等を生じる。また免疫反応を介しての組織障害も推測されている。

治療薬は細胞壁を持たないためβラクタム系やアミノグリコシド系は効かず、細胞の蛋白合成(マクロライド系、テトラサイクリン系等)やDNA合成を阻害する薬剤(ニューキノロン系)が有効で、自然治癒例もある。

マイコプラズマ肺炎は過去大体4年毎のオリンピック開催年に多いとされたが最近その傾向はない。日本では昨年初夏からマイコプラズマ肺炎が全国的に流行し、定点調査の1999年以来最多となっている。その内80～90%がマクロライド高度耐性菌である。マクロライド耐性菌は2000年に岡崎氏らが世界で最初に報告し、その後年次的に急上昇している。耐性化の原因は1ヶ所の遺伝子の変異(主に23SrRNA遺伝子のA2063Gの変異)による。

流行の要因は従来第一選択薬のマクロライドが効かず症状が遷延し、強い咳嗽で保育園、学校や家庭での感染が拡大したと考えられている。しかし耐性率の低い(0.9～2.9%)英国や北ヨーロッパ諸国でも2010～2011年にかけて歴史的な大流行があり、日本における流行が必ずしも耐性率の高さと関係してないとする報告もある。有効な抗菌薬はミノマイとニューキノロン系薬であるが、8歳以下の小児に安全に使用できる抗菌薬は少なく、今後の課題である。

(文責 くろさわ子ども&内科クリニック 黒澤サト子)